

コードやプラグなど配線器具の事故が多発しています

こんな使い方していませんか？



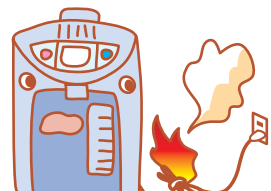
コードの上にものをのせる

事例

住宅から出火し隣家も全焼した。(平成20年11月 山形県)

原因

電気こたつの電源コードを家具で踏みつけていたため、コードが断線して発火したものです。



コードを束ねる

事例

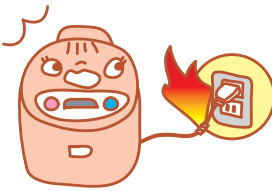
使用中の電気あんかが発火し、ふとんなどが焦げた。(平成22年3月 大阪府)

原因

コードを引っ張る



電源コードを折り曲げるなど乱暴に扱っていたため、半断線状態となり、ショートして発火したものです。



素人修理をする

事例

水槽用ヒーターを接続していたテーブルタップから出火し、床を焼いた。(平成22年2月 富山県)

原因

ヒーターの差し込みプラグとテーブルタップの隙間に、ほこりや水分が付着してトラッキング現象が発生して発火したものです。

トラッキング現象

ほこりや水分を付着させる



製品事故に関する情報は以下のアドレスでご覧いただけます。

【NITE(ナイト)】

事故情報や社告・リコール情報等の検索のほか、注意喚起チラシなどのダウンロードができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

【経済産業省】

新着情報、リコール情報、製品安全にかかわる政策情報などをご覧いただけます。

http://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

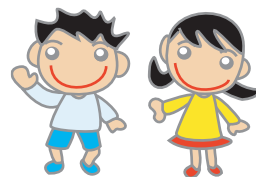
製品事故等が発生したら…

消費者庁、お近くの消費生活センターにご連絡ください。

nite
ナイト

独立行政法人 製品評価技術基盤機構
製品安全センター

製品安全調査課
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館
TEL 06-6942-1113 FAX 06-6946-7280



2010年12月

ついついうっかりが 危険な事故に

取扱説明書をよく読んで正しく使用しましょう



事故 **ナイト** いいね

ガスコンロの火が服に燃え移って死亡

事例
火災が発生し、1人が死亡した。(平成21年2月 富山県)

原因
やかんでお湯を沸かしているとき、ガスコンロの火が服に燃え移ったものです。

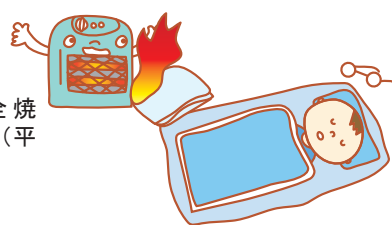


! ガスコンロやカセットコンロを使用するときは、袖口や服の裾、エプロンなどが火に触れないように気をつけてください。ガスコンロの近くに、ふきんなど燃えるものを置いたり、吊したりしないでください。

電気ストーブにふとんがふれて火災

事例
住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。(平成21年3月 千葉県)

原因
電気ストーブをつけたまま就寝したため、ふとんがヒーターに触れて火がつき、出火したものです。



! 寝るときは必ず電源スイッチを切りましょう。また、そばにカーテンなどの燃えやすいものを置かないでください。洗濯物を乾かしたことが原因による火災事故も多く発生しています。乾燥して軽くなった洗濯物が上昇気流で外れてストーブに落下する危険性があります。

カセットコンロから出火

事例
カセットコンロから「ヒューヒュー」と音がして、カセットボンベのあたりから火が出た。(平成21年3月 広島県)

原因
カセットボンベを正しく装着しなかったためにガスが漏れ、カセットコンロの火に引火したものです。



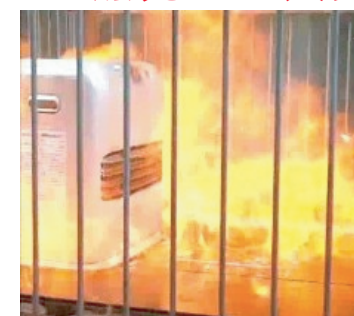
カセットボンベを正しく装着しなかったために漏れたガスが引火しました。(再現実験)

! カセットボンベを装着する際は、正しく装着してください。五徳が裏返しになっていないかを確認してください。カセットコンロは2台並べて使用しないでください。また、コンロを覆うような大きな鍋などは使用しないでください。

カセットボンベが爆発して火災

事例
カセットコンロ用のカセットボンベが爆発して、火災が発生した。(平成20年2月 北海道)

原因
カセットボンベを石油ファンヒーターの前に置いていました。そのため、過熱されたカセットボンベが爆発したものです。



噴射剤に可燃性ガスを使用しているスプレー缶をファンヒーターの前に置いたところ、熱で膨張して噴き出したガスが引火しました。(再現実験)

! カセットボンベやスプレー缶などをストーブ、ガスコンロなど熱源の近くに置かないでください。過熱されると内圧が上昇して破裂・爆発し、噴き出した可燃性ガスが引火して危険です。

石油ストーブの火を消さずに給油し、火災

事例
住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。(平成21年1月 岩手県)

原因
石油ストーブの火を消さずにカートリッジタンクに給油したところ、カートリッジタンクのふた(ネジ式)の締め方が不完全だったため灯油がこぼれ、ストーブの火に引火し、火災に至ったものです。



! 石油ストーブに給油する際は、必ず火を消してください。カートリッジタンクのふたが完全に締まっているかどうか必ず確認してください。間違っってガソリンを入れると異常燃焼を起こしますので、絶対にガソリンを入れないでください。

ゆたんぽで低温やけど

事例
ゆたんぽを使っていたら、低温やけどを負った。(平成21年1月 愛知県)

原因
長時間、ゆたんぽに接触していたため、低温やけどを負ったものです。

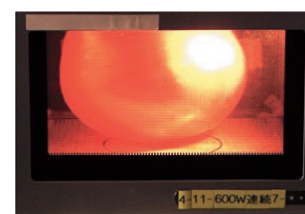


「低温やけど」は、ゆたんぽやこたつなどの暖房器具のほか、使いすてのカイロなどでも発生します。同じ部位を長時間温めないでください。また、違和感や熱いと感じたら直ちに使用を中止してください。ゆたんぽや電気あんかは、厚手のタオルや専用のカバーなどで包んでも低温やけどを負うことがあります。就寝前にふとんの中に入れて、温まったらゆたんぽをふとんから出し、電気あんかはスイッチを切ってください。

低温やけどとは？
比較的低い温度(44℃～50℃)でも長時間にわたって皮膚の同じところに触れていると筋肉などが壊死するために「低温やけど」を負います。44℃では3～4時間以上、50℃では2～3分で「低温やけど」になるといわれています。

電子レンジ加熱式ゆたんぽが破裂してやけど

事例
電子レンジ加熱式のゆたんぽを加熱していたら、ゆたんぽが膨らんできたためあわてて電子レンジの扉を開けると、ゆたんぽが破裂して内容物が飛び散り、顔面にやけどを負った。(平成21年3月 熊本県)



加熱時間を超えたために大きくふくらんだゆたんぽ(再現実験)

原因
オート加熱機能を禁止する表示がありました。誤って使用したため、規定時間を超えて加熱され、袋の内圧が高まって破裂し、内容物が飛び散ったものです。

! 取り扱い表示の使用法やレンジ出力及び加熱時間を必ず守ってください。袋が膨張、あるいは内容物が漏れ出した場合は、電子レンジのスイッチを切り、十分に時間を置いて冷めたことを確認してから扉を開けてください。

金属製ゆたんぽが破裂

事例
金属製ゆたんぽを加熱していたら、大きな音がしてゆたんぽが飛び、蛍光灯が割れて電磁調理器が破損した。(平成22年1月 岡山県)

原因
ゆたんぽの口金を外さずに加熱したため、内圧の上昇に耐えられなくなって破裂したものです。



! ガスコンロや電磁調理器で直接加熱するタイプの金属製ゆたんぽは、必ず口金(キャップ)を外してから、加熱してください。

はしごから転落して骨折

事例
雪下ろし中に、屋根に立てかけたはしごから転落し、腰の骨を折った。(平成20年2月 山形県)

原因
足場を確認せずにはしごを立てかけて作業をしていたため、はしごの脚が滑って転落したものです。



! はしごは、柔らかい場所や凍った地面、段差のあるところに設置しないでください。また、補助者がはしごを支えてください。脚立を使用する場合は天板に乗らないでください。はしごとして兼用できるものは、裏面側は絶対に使用しないでください。

多発 社告・リコール中のハロゲンヒーター等で事故



左の3種は社告リコール該当製品の一部です

社告・リコール中のハロゲンヒーターやカーボンヒーターで事故が多発しています。お使いのハロゲンヒーターやカーボンヒーターが該当製品でないかNITEホームページで確認してください。

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/leaflet.html>